



もり
北の森林
国有林

写真：利尻山の南稜

今月のトピック

- ・豊かな自然を守る森林保護員
(グリーン・サポート・スタッフ)

2

2020
No. 50



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局





知床連山



緑岳の第一お花畑



神仙沼

利用者が多い歩道沿には、高山植物の保護や侵入防止のためにロープを張っています。



暑寒別岳



登山道の笹の刈り払いや倒木の処理、ステップ修理、看板の整備なども行っています。



オンネトーと雄阿寒岳・雌阿寒岳



レブンアツモリソウ



世界遺産の知床では、環境保全以外にもドングリ調査などのモニタリング調査も行っています。



利尻富士



十勝連峰

根室地域における造林作業の軽労化に向けて

根釧 東部森林管理署

はじめに

根釧東部森林管理署は、道東の根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町（1市4町）に広がる約10万6千haの国有林を管理しています。世界自然遺産の知床半島の南面部、羅臼岳を含む自然豊かな山岳、また広大な根釧台地に編み目のように張り巡らされた格子状防風林など景観優美な森林が広がります。



羅臼岳

地域の課題

根室地域の基幹産業は水産業や酪農業であり、林業就労者の確保には地域の森林整備を担う事業体も大変苦慮していると

ところで。また、現在林業に従事している方々にも高齢化が進んでいる状況です。このため当署では「地域に適した伐採及び造林における低コスト作業の普及・定着」を目標として、特に機械化が困難な造林作業の労働負荷を軽減することが重要と考え、取り組んでいます。

造林作業のうち、植付け・下刈りは、作業適期が集中することから、植付けの省力化が可能なコンテナ苗の活用が有効と考えました。

令和元年度の取組

そこで当署では平成30年度から実施している伐採と大型機械地拵の一貫



トドマツコンテナ苗(左)と裸苗

作業及びコンテナ苗を植栽している箇所にプロットを設定して、大型機械地拵による下層植生の回復状況、広葉樹等の天然更新の状況、カラマツとクリーナーチの成長比較などから、コンテナ苗を使用することによる下刈り回数の見直しに向けた影響調査を行いました。



大型機械地拵実施箇所

その結果、一年目の下刈りは下層植生の草丈が苗木丈を上回っていないことやその繁茂状況から、実施を見合わせました。

下刈りを省略した箇所について、苗木の生育及び残存状況等を確認したところ苗木の成長に支障がないことがわかりました。また、この結果は、根室振興局、自治体の林務担当者及び事業体などと

実施した現地検討会でも参加者に確認してもらいました。

今後の取組予定

次年度以降についても、継続した調査を実施してデータ収集を行い地域の関係者と情報共有を図るとともに大型機械地拵のメリット及びコンテナ苗の使用による優位性について理解を深め、造林作業における低コスト及び軽労化の普及・定着に向けて取り組んでいく考えです。

また、これからも民有林支援として技術の普及など具体的な取組を進めて参ります。



現地検討会の様子

こんにちは 森林官です!



十勝西部森林管理署
清水森林事務所
森林官 井上 康宏



右が筆者

【管内の概要】

清水森林事務所は、十勝平野の西部、日高山脈の麓に広がる清水町に所在しています。管理する国有林は11,416 haで、清水町管内の森林面積の約6割を占め、剣山や芽室岳など登山者に人気のある山々を有しています。

【清水町の特徴】

清水町は農業を基幹産業とする町で、豊富な農畜産物を利用した食品加工業が盛んです。「食」のイベントも多彩で、昨年は「十勝若牛アスパラまつり」「十勝清水肉・丼まつり」「十勝清水にんにく肉まつり」など、町内外の多くの来場者を楽しませる催しがありました。また、豊かな森と自然景観にも恵まれ、「十勝清水四景」に選ばれている日勝峠展望台からは、眼下に広がる



「十勝清水四景」のひとつ
日勝峠展望台からの眺望

十勝平野と遠くに浮かぶ大雪連峰の四季折々の絶景が、見る人の心に刻まれます。

【「なつぞら」のロケ地】

昨年放送されたNHK連続テレビ小説「なつぞら」は十勝が舞台でしたが、清水町にもそのロケ地があり町営円山牧場周辺には記念の看板が設置され、多くの観光客が足を止め写真撮影する光景が見られました。



ドラマ「なつぞら」の
ロケ地

【大雨災害からの復旧】

平成28年8月に台風10号による未曾有の大雨により管内国有林を流れるペケレベツ川や小林川などが氾濫し、道路や建物、農業施設等に甚大な被害が発生しました。災害後、道路等の復旧と併せて、国

有林においても大規模に荒廃した林地と溪流の復旧に向け、治山ダム等の整備を進めています。また、厳しい気象条件下にある日勝峠付近では、防風柵を設置して、アカエゾマツ等を植栽する「日勝峠保安林整備事業」を実施しています。これらの整備等に併せて、地域からの要望である災害復旧と事前防災・減災に向けた取組を推し進めています。



完成が待たれる小林川の
スリットダム



植栽されたアカエゾマツ
と防風柵

【森林整備事業等】

当事務所管内では、共同事業体による森林整備

事業を6月から11月中旬まで実施しましたが、事故もなく終えることができました。



森林整備の結果として出
材した丸太をグラップル
により整理している現場

また、一昨年、昨年と「天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会」が実施されカラマツ人工林の複層伐と大型機械による地拵えを一体で行う林分において、より良い森林の姿を模索するべく現地調査と意見交換を行ないました。

【最後に】

当事務所管内の国有林には平成28年の台風による甚大な災害の爪痕が残っていますが、引き続き治山施設等の設置や日勝峠の保安林整備とともに、森林の保全管理に不可欠な林道の復旧など、今後も国有林の現場を担う森林官として、その取組を前進させていきたいと思っております。

も 森 林 の 話

第6話

日高南部森林管理署

鈴木 陽己

採用二年目の若手職員のコーナーです

一年間、四季折々の姿を見せる森林が真っ白になる季節となりました。

緑が生い茂る森林もいですが、雪が積もり真っ白な冬の森林にはまた違ったおもしろさ、発見があります。まず、葉が落ちていないため、夏よりも格段に見通しがよくなり、林内の様子を見ることができるようになります。そのため、森林の様子を把握しやすくなります。



夏と冬の違い、見通しがよくなります

一般的に丸太を生産するといふ面において、冬と夏では違いがあります。冬は高級家具や楽器材になるような良質な丸太

太が生産される時期になっています。

夏の場合は生産された丸太を長期間山に積んでおくと、キウムシやカミキリムシなどの虫害により丸太の品質が落ちてしまうこと(丸太に穴があくなど)がよくあります。

しかし、冬になるとそういった虫害が発生しにくく、特に良質な丸太(太い丸太や長い丸太など)の生産に適した時期となっています。そのため、冬の丸太を積んで置く場所には多くの良質な丸太が集められます。



並べられた良質な丸太

そんな北海道の冬の森林で、夏と一番の違いは、雪

が積もっていることだと思います。積もった雪の上には車のタイヤ痕や野生動物の足跡など様々な痕跡が残っています。

特に野生動物の足跡は夏だと見つけることが非常に難しいですが、積雪状態では簡単に見つけることができます。

丸太を積んで置く場所は平坦で開けているため、エゾシカやエゾユキウサギ、ネズミなど多くの野生動物の足跡を観察することができます。観察する際に動物たちがどのように行動しているかイメージしながら足跡を観察してみると、種類によって足跡の形だけでなく行動も違つことがわかります。

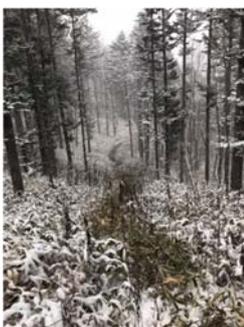


特徴的なエゾユキウサギの足跡

エゾユキウサギは非常に特徴的で、判別もしやすい足跡です。また、足跡はそのうち中歩き回ったことがわかるくらい残っていることが多く、時には丸太の上で周囲を少し警戒していたことがわかる足跡もあります。

対して、ネズミは体が小さく丸太の隙間から隙間へ移動していることが多く、よく一直線に足跡が残っていることがあります。

こういった足跡を見ていると冬の寒さにも負けず懸命に生きている動物たちの生命力とそれを育む森林の素晴らしさを感じるができます。



自分が歩いた足跡も残ります

皆さんもふとしたときに雪の上を見てみると新しい発見があるかもしれません。



各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索



置戸町と連携した 銘木市への出品



【網走中部森林管理署】

1月24日に旭川銘木市が開催されました。今回の銘木市には地元の置戸町から出品したメジロカバ径級56センチメートルが、落札の読み上げで「大台です!」という声に会場ではどよめきが起こり、樹種別の最高単価を獲得することが出来ました。この丸太は、昨年11月初旬に置戸町の林務担当者より、「町営住宅に隣接する林地の樹木を居住者の安全のため伐採し、事業体へ売り払うこととしたが、樹種名や木材の価値、販売方法などについてアドバイスが欲しい。」との依頼があり、樹種の確認や採材の指導等について、森林管理署に依頼があり、指導と併せて銘木市への出品を提案しました。

今後も、このような支援と連携を積み上げていくことが重要だと、改めて実感しています。

QGIS（地理情報システム）の勉強会を実施



【十勝東部森林管理署】

1月22日、当署職員を対象にしたQGIS(※)勉強会を開催しました。QGISは、造林や造材の実施計画図の作成や森林作業道の記録、面積測量に活用できるほか、データファイルを送るだけで図面の共有を簡単に行うことができるため、各方面で活用が進んでいます。今回の勉強会ではQGISの操作方法や基本的な使用例を解説した職員手作りのマニュアルを使って行いました。事後アンケートでは、9割以上の回答者から今後の業務にQGISを活用したいと回答があり、多くの職員にQGISの利便性を感じてもらうことができました。今後は、職員内での活用をすすめ、業務の効率化、省力化を図っていきます。(※)無料で公開されているGISソフト

滝上小学校・濁川小学校 合同で「間伐現場見学」 を実施



【西紋別支署】

1月27日、滝上町、滝上町森林組合、滝上林業協同組合等と西紋別支署で構成される「滝上みどりの森林推進協議会」が、江本木材産業株式会社の社有林において滝上小学校と濁川小学校の児童を対象にした森林環境教育で間伐作業を見学しました。現場では、高性能林業機械を使用した立木の伐倒・枝払い・玉切りの一連の作業を見学し、児童からは「カッコいい!」、「すごい!」と声上がり、あっという間に伐倒から玉切りまでを行い、機械の動作や木が倒れる迫りに驚き興味津々な様子でした。今年度、苗木の生産から伐採、さらに製材までの一連の流れを見学したことで、林業について理解を深めてもらったのではないかと思います。

CISEサイエンス フェスティバル



【企画課】

1月9日、10日に札幌市の地下歩行空間(チカホ)にて第8回CISE(※)サイエンスフェスティバルが開催されました。このイベントでは、札幌近郊の自然史系博物館や動物園・図書館等といった社会教育施設、市民団体と大学など研究機関が協働して、地域の子どもと一般市民に科学教育の場を提供しています。北海道森林管理局のテーマは「冬でもできる樹木観察～冬芽から広がる世界～」冬芽から出された5つのミッションにチャレンジしていただきました。2日間で1,600人を超える来場者があり、大盛況でイベントを終えることができました。皆様も森や公園で樹木を観察するのはいかがですか。

(※)札幌周辺地域の教育施設が連携し、地域住民への実物科学教育を進めるネットワークです。

入場無料
申込不要

CPD認定
プログラム
申請済

北の国・森林づくり 技術交流発表会

北の国・森林づくり技術交流発表会は、北海道の森林・林業・木材産業の活性化を推進するため、情報提供や意見交換を通じて、技術力の普及・向上、そして、交流の推進を目的としています。

令和2年2月18日(火)
19日(水)

9:50~17:00
CPD受付 10:20まで

9:15~16:45
CPD受付 9:35まで

北海道大学 学術交流会館 札幌市北区北8条西5丁目



JR札幌駅北口から
北大正門まで徒歩約7分

- ◆一般(口頭)発表 19 課題 2月18日 10:45~ 2月19日 9:45~
- ◆ポスター発表 26 課題 コアタイム
2月18日 15:30~ 2月19日 11:45~
- ◆特別発表 4 課題 2月19日 13:00~
- ◆特別講演 講堂(2F) 2月19日(水) 15:10~16:10
「カラマツ製材の現状と無垢建築材への取り組み」
オムニス林産協同組合 理事 瀬上 陽平

主催 : 林野庁北海道森林管理局
お問い合わせ: 技術普及課 011-622-5245

令和元年度「森づくり活動発表会」の開催

石狩地域森林ふれあい推進センターでは、定山溪中学校、NPO団体等がそれぞれの活動内容を報告する「森づくり活動発表会」を毎年開催しております。

今年度の発表会については、定山溪中学校は植林活動、環境保全活動の取組を、国有林は森林・林業に関する技術開発とその普及・支援、森林とのふれあい、森林教室などの取組を紹介することとして、次のとおり発表会を開催します。

- ・日時 2月26日(水)
13時30分~15時30分
- ・場所 札幌市立
定山溪中学校体育館

札幌市南区

定山溪温泉西1番31号

※詳しくは、石狩地域森林ふれあい推進センターへお問い合わせ下さい。

電話 011-622-5114

FAX 011-8005-0201

今月の表紙

冬の晴れ間に、利尻山を力ムラに納めました。独立峰の姿は、「利尻富士」とも呼ばれるように、壮大ですが、南側の猛々しい表情に驚きました。試みに、島の周辺から様々な利尻山を写してみたくなりました。撮影結果を、ホームページに掲載しましたのでご覧ください。



編集後記
50-北の森林国有林も本誌で
1号を迎えました。引き続き
北海道国有林の取組をわか
りやすく親しまれるよう情
報を載せていきます。

もり
広報 「北の森林 国有林」2月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70番
IP電話 050-3160-6300
電話 011-622-5213
FAX 011-622-5194
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>